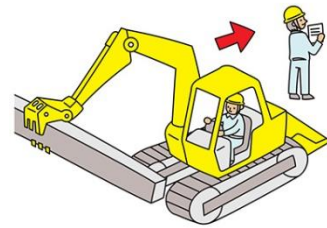


## 伐採した木の移動作業中、ドラグ・ショベルの履帯に両足を挟まれて死亡



一般家屋の解体作業を4名で行っていた。被災者はドラグ・ショベルで支えられた立木をチェーンソーで切り込みを入れる役割であった。切り込みを入れた立木をバケットで倒すために運転者はドラグ・ショベルを後退させた際に、後方にいた被災者に気が付かず、被災者は履帯に両足を挟まれてしまった。ドラグ・ショベルの運転者は運転の資格を持っていなかった。

この災害の原因としては、次のようなことが考えられる。

- 1 ドラグ・ショベル運転者が無資格で、知識や技能が不十分であったこと。
- 2 ドラグ・ショベルと周辺作業員が接触しないよう、誘導員の配置、立入禁止柵の設置などを行っていなかったこと。
- 3 作業前にドラグ・ショベルの稼働範囲には侵入しないことを申し合わせていたが、作業計画が具体的でなかったこと。

同種災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要である。

- 1 無資格者にドラグ・ショベルを運転させないこと。
- 2 誘導員の配置、立入禁止柵の設置などドラグ・ショベルと周辺作業員の接触防止策を取る。また、ドラグ・ショベル運転者が周囲の様子を把握でき、注意を促すことができる装置を設置すること（作業半径内感知システム、バックカメラ、バックブザーなど）
- 3 ドラグ・ショベル運転にかかる作業計画を书面化し、作業員に周知を図ること。